

一般質問(要旨)

身障者用駐車場利用証制度の
効果的な普及を
窓口のほか代理・郵送申請も可能に

荻津和良議員(自民) 身障者用駐車場利用証制度が今年十月から本県で始まるが、効果的な普及のためにどう取り組むのか。また、近県との共通利用は。

保健福祉部長 広報紙などで制度の普及啓発を行う。市町村福祉担当などで申請発行手続きができるよう進め、代理申請や郵送での申請も可能にする。導入と同時に柘木や群馬などの近県との共通利用ができるよう努めていく。

議員 水田を有効活用するため、今後、新規需要米の取り組みをどう進めるのか。
農林水産部長 平成二十三年度は新規需要米への国の所得補償交付金十アール当たり八万円に



障害者用駐車場利用証制度は本県で今年10月開始予定

選挙公約である医科大学誘致の実現は
国での議論を注視し、
情報収集にも努める

梶岡博樹議員(みんな) 知事は選挙マニフェストで医科大学誘致を県民に約束したが、新設・移転とも困難な状況と思われる。今任期中に実現できるのか。

知事 誘致が簡単に実現しないことは承知しているが、医師不足解消に最も効果的なことから、今後も、昨年十二月に医学部新設の議論を始めた国の動向を注視し、引き続き情報収集に努める。

議員 国道二九四号守谷地区で一部四車線となっていないため、通勤渋滞が生活道路にまで入り込み、安全確保が困難な状況である。早期



医師不足解消には医師養成が必要

こども福祉医療センター新施設の整備方針と県の関わりは
機能訓練など強化する
県は助成を行い、運営方針に
関与する

館静馬議員(自民) こども福祉医療センター新施設の整備にあたり、機能訓練の充実など利用者へのニーズに応えられる施設となることを望む。また、民営となるが、県の役割は。

知事 機能訓練の強化や一八歳以上にも対応できる内科の設置のほか、医師の宿直体制の整備を図る。また、県独自の助成や、事業者との協定に運営方針への県の参画を明記し関わりを担保する。

議員 借楽園は表門から入ってこそ魅力が堪能できる。魅力向上懇談会のメンバーからも表門へのアプローチ整備の強い要望が出ており、一刻も早い都市計画策定への着手を提言する。



建て替え整備するこども福祉医療センター

防犯ステーションへの取り組みは
活動に対し可能な限りの支援を実施

萩原勇議員(自民) 県民の安心・安全を図る上で防犯ステーションの果たす役割は重要であり、積極的に取り組む必要がある。一方、十分に機能する環境づくりも欠かせない。今後どのように取り組むのか。

警察本部長 今後とも、地域の安全なまちづくりに大きな役割を担う防犯ステーションの設置を自治体にお願いとす

に、可能な限りの支援を行う。

議員 常磐線の東京駅乗り入れまであと二年だが、全線乗り入れ、そして使い勝手のよい常磐線のための輸送力増強に向けてどのように取り組んでいくのか。

知事 すべての特急列車とできる限り多くの中距離電車の乗り入れをJR東日本に全力で働きかける。また、運行本数の増発など輸送力の増強も要望してい



地域の安全なまちづくりに大きな役割を担う防犯ステーション

(ほかに、県内大学の活用による生涯学習の充実、道路維持管理における県民サービス向上策なども質問)

常陸川水門の柔軟運用等を
検討する協議会を設置してはどうか
管理者である国の判断と考える

青山大人議員(民主) 常陸川水門が霞ヶ浦水質悪化の一因と云われている。有識者などによる検討協議会を設け、水門の開閉による環境影響評価を行い、水質対策を検討してはどうか。

知事 塩水の流入が懸念される水門の柔軟運用は、大きな問題があると認識している。検討協議会の設置は、管理者である国

が判断するものと考えている。

議員 小町の里は観光スポットであったが近年は観光客も減っている。土浦市が整備を進める新治地区小町の里の活性化について、県はどのように支援していくのか。

企画部長 県は小町の里への合併特例債の活用などの助言を行ってきたが、今後も、小町の



常陸川水門

土木部長 好文亭表門通りなどで歩車道分離を進めており三月中に概ね完成する。表門への新たなアプローチ整備については、交通状況などを調査の上、水戸市と共同で合意形成に努める。
(ほかに、待機児童対策、リサイクル率の向上、自動車登録変更の適正な手続きなども質問)

里計画の円滑な推進を支援するとともに、筑波山周辺地域の魅力を県内外に広くPRしていく。
(ほかに、県南市街地の基盤整備、学校の耐震化なども質問)